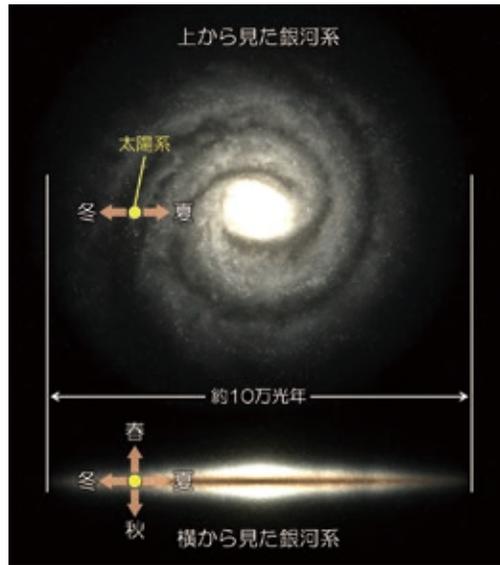


春の夜空は『宇宙の覗き窓』

普段、私たちが目にする夜空の星はそのほとんどが銀河系の星です。銀河系には数千億個の星が渦を巻くようにして円盤の形に集まっています。円盤の中に位置する太陽系から宇宙を見たとき、円盤を横から見る方向は星がより多く重なっているため、夜空をぐるっと一周するもやもやとした川のように見えます。これが天の川です。

銀河系よりも外の宇宙には無数の銀河があちこちにありまます。右の図のように、円盤を横から見る方向、つまり夏や冬は見える星が多くなりますが、春や秋は見える星があまり多くありません。そのため、銀河系の外のさまざまな銀河を見通すことができます。特に春の夜空は多くの銀河が見られるため、『宇宙の覗き窓』とも言われるのです。

銀河の形は星の集まり方や向いている角度によってまったく異なり、とてもユニークです。双眼鏡や望遠鏡を使って、この春の季節だからこそのお気に入りの銀河をぜひ探してみてくださいね。



▲銀河系と太陽系の位置関係図



▲ソンプレロ銀河 M104 (おとめ座)



▲子持ち銀河 M51 (りょうけん座)

観望会のご案内

札幌市天文台

【中島公園内】(コンサートホールKitaraと豊平館の間) 【問い合わせ】☎011-511-9624 (札幌市天文台)

★昼間公開

日程
火曜日 10:00~12:00
水曜日~日曜日 ①10:00~12:00
②14:00~16:00

観望対象
太陽、昼間に見える星



▲札幌市天文台では口径20cmの屈折望遠鏡で星を観望することができます。

★夜間公開 ※電話予約が必要です(科学館 ☎011-892-5004)

3月の日程
3月10日(金)~12日(日)
19:00~21:00 (受け付け2月15日9:00~)

観望対象
火星、冬から春の星座の星

4月の日程
①4月1日(土)~2日(日)
②4月28日(金)~30日(日)
20:00~22:00 (受け付け3月15日9:00~)

観望対象
①月、冬から春の星座の星
②月、春の星座の星

5月の日程
①5月3日(水・祝)~6日(土)
②5月26日(金)~28日(日)
20:00~22:00 (受け付け4月15日9:00~)

観望対象
月、春の星座の星



— 科学の今と未来をつなぐ —
札幌市青少年科学館
Sapporo Science Center
(札幌市青少年科学館 指定管理者 公益財団法人 札幌市生理学遊園興財団)



【休館中飯事務所】〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 (ちえりあ内)
【TEL】011-892-5001 【FAX】011-894-5445 【ホームページ】https://www.ssc.slp.or.jp/

長期休館のお知らせ

展示物大規模リニューアル・施設の長寿命化等のための改修工事に伴い、2022年8月22日より休館しています。(〜2024年3月末予定)

2023年
春号
Vol.105

札幌市青少年科学館天文情報リーフレット
星 空 散 歩
H O S H I Z O R A S A M P O

今回の表紙写真は...「ZTF彗星」

2023年1月に太陽に接近したZTF彗星(C/2022 E3)を撮影しました。特徴的な緑色が美しいですね。

撮影者：上田雄彦 撮影日：2023年1月22日1時ごろ
撮影地：沙流郡日高町豊郷 データ：タカハシFSQ106ED 焦点距離 530mm / ZWO ASI2600MC シャッタースピード60秒 ゲイン200 10枚スタック ガイド無し

表紙の写真募集中!

あなたの写真が表紙になるかも!

詳しくは...

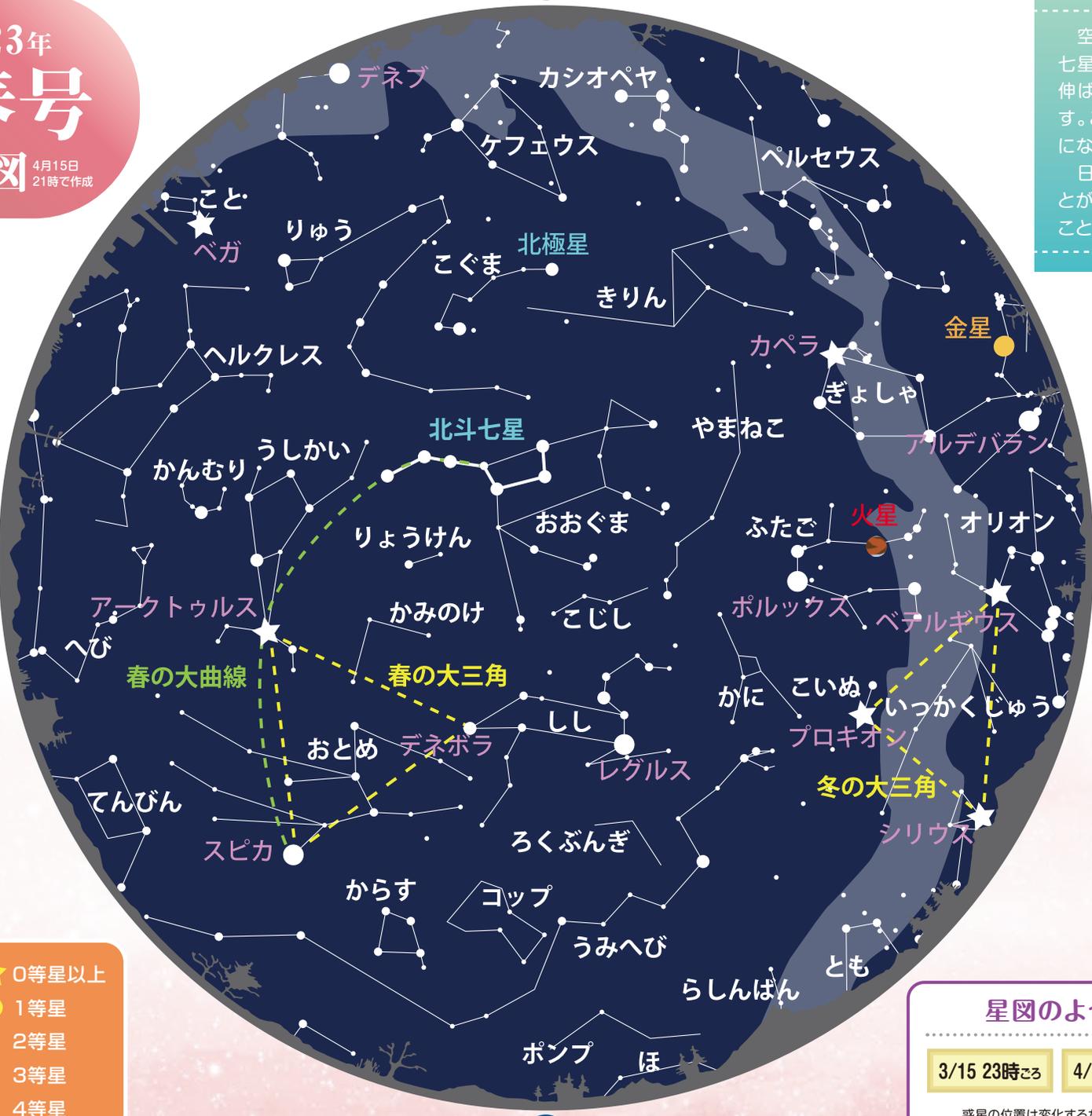
札幌市青少年科学館 星空散歩



検索

2023年 春号 星図

4月15日
21時で作成



空のてっぺん付近を探すと、北斗七星が輝いています。北斗七星はおおぐま座の尻尾にあたり、尻尾のカーブに沿って線を伸ばしていくと一等星のアルクトゥルスとスピカが見つかります。この2つに加え、しし座のデネボラを結ぶと「春の大三角」になります。

日没後約2時間は西の空を見ると明るく輝く星を見つけることができます。これは惑星の「金星」で、日没後に見える金星のことを「宵の明星」と呼びます。

星図の使い方

- ①星図は空にかかげて使います。
- ②空にかかげたら、自分の向いている方角と星図の方角とを合わせて星を探しましょう。



星図のように見える時刻

3/15 23時ごろ	4/15 21時ごろ	5/15 19時ごろ
------------	------------	------------

惑星の位置は変化するため、4/15の位置を示しています。

月のかたち

○ 満月	4/6、5/6、6/4
◐ 下弦	4/13、5/12、6/11
● 新月	4/20、5/20、6/18
◑ 上弦	4/28、5/28、6/26

星を見よう!

金星

これからの時期、金星が夕方に西の空で明るく輝きます。金星は真夜中には見る事ができない星です。明け方に見られるときには「明けの明星」、夕方に見られるときには「宵の明星」とも呼ばれます。



-4等級以上と周りのどの星よりも明るく輝くので見つけやすいでしょう。金星が見やすい時間は、3月は19時ごろ、4月は20時ごろ、5月は20時30分ごろがおすすです。

3月2日には木星と、3月24日・4月23日・5月23日には月と大接近の様子も見る事ができます。共演を楽しみたいですね。

星座のおはなし

おとめ座のおはなし

おとめ座のモデルとなった女神には様々な説があります。おとめ座が夜に見えるようになる頃には春が近づき、草木が芽吹き始めることから豊穡の女神デメテルとして語られることが多いでしょう。

1年のうち、デメテルの娘ペルセポネが冥界に行っている3か月間は、デメテルが悲しんで洞窟に閉じこもってしまうため、草木が枯れて冬になるといわれています。



みつけかた

おとめ座は全天で2番目に大きい星座で、北の空で輝く北斗七星から春の大曲線を結んだ先で見つけられる星、スピカが目印です。スピカはギリシャ語で「麦の穂先」という意味を持つ星です。

● 3月…東の空21時ごろ
● 4月…南東の空21時ごろ
● 5月…南の空21時ごろ